



株式会社 協豊製作所

環境報告書 2024

2025年1月発行

目次

環境方針	1	啓発活動	7
環境管理組織図	2	環境負荷物質の低減活動	8
ISO14001（環境マネジメントシステム）	3	廃棄物低減活動	8
行政との共生	4	異常処置訓練	9
地域コミュニケーション	4	緑化活動	9
地域活動	5	環境重要設備の管理	10
ISO14001認証取得	6	カーボンニュートラルに向けた取り組み	11
環境内部監査	6	CO2、廃棄物削減活動	12-13
環境教育	7	環境測定データ	14-15



(株)協豊製作所 環境方針

当社の経営理念である「自然環境に配慮するとともに法とその精神を遵守し、地域に根ざした企業活動を通じて社会の発展に寄与する」を受けて、環境方針を制定する。

2020年8月17日

環境統括者

取締役執行役員 福岡秀夫

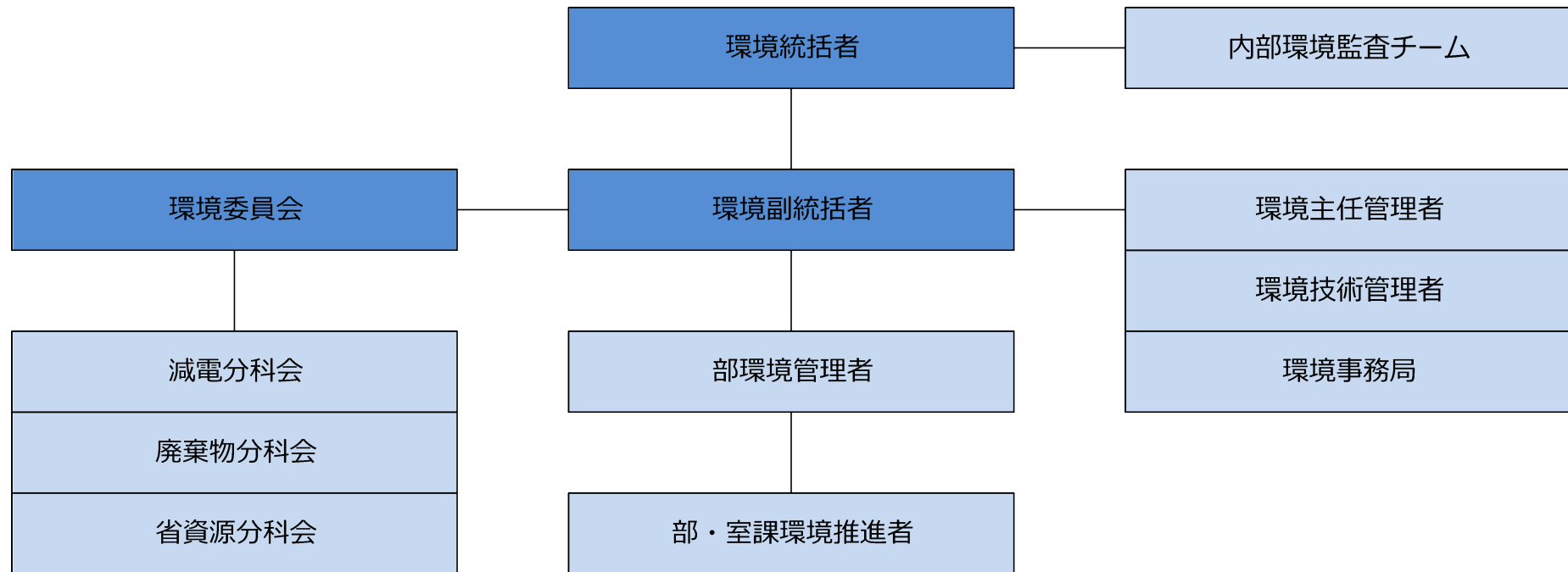
1. 地球や地域に求められる環境への目標を定め、その達成に向け、部品及び部品の生産、設備の設計・製作など全ての事業活動において、環境への影響を常に考え、行動するマネジメントを実行するとともに、環境マネジメントシステムの継続的な改善を行ないます。
2. 国・地方自治体の定めた環境法規に加え、当社と子会社が同意した要求事項を遵守するとともに、仕入先の環境における課題を共有し、環境保全に向けた支援を促進します。
3. 環境保全の基本は発生源対策にあるとの認識の下、資源やエネルギーの使用量を削減するなど、環境影響要因の低減を積極的、継続的に取組みます。
4. 一人ひとりが自らの仕事における環境への影響を認識し、環境保護への自覚と責任を持った自主的な活動を行ないます。
5. 地域とのコミュニケーションを大切にし、地域の環境保護活動及び自然共生活動に積極的に参画します。



協豊エコマーク

環境管理組織図

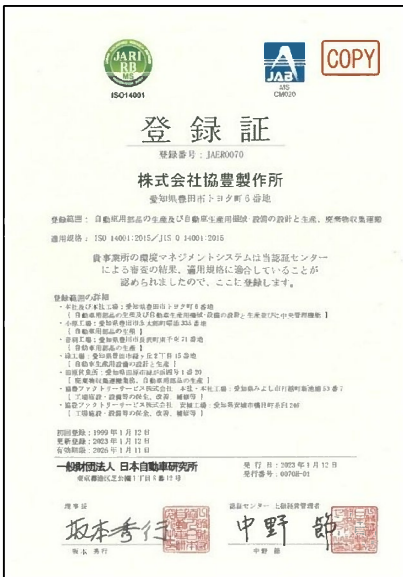
環境に関する取り組みは、環境統括者を議長とした「環境委員会」で審議し、子会社を含めて全社的に展開して推進します。



ISO14001（環境マネジメントシステム）

1999年1月12日にトヨタ自動車(株)100%子会社の部品・設備メーカーとして第1号の認証を取得しました。

1. 認証登録証



2. 環境マネジメントシステム適用範囲・認証取得範囲

サイト	住所	適用範囲	認証取得範囲
本社・本社工場	愛知県豊田市トヨタ町6番地	○	○
小原工場	愛知県豊田市永太郎町添添338番地	○	○
音羽工場	愛知県豊川市長沢町東千束71番地	○	○
緑工場	愛知県豊田市緑ヶ丘二丁目15番地	○	○
田原営業所	愛知県田原市緑が浜四号1番20	○	○
衣浦営業所	愛知県碧南市玉津浦町10番地1	○	※
協豊ファクトリーサービス(株)本社工場	愛知県みよし市打越町新池浦53番7	○	○
協豊ファクトリーサービス(株)安城工場	愛知県安城市橋目町茶臼246	○	○

対象活動
自動車用部品の生産及び自動車生産用機械・設備の設計と生産、廃棄物収集運搬 (認定範囲分類 18：機械、装置、22：その他輸送装置、39：その他社会的・個人的サービス)

対象人員
正社員、パート、派遣社員

対象外となる業務・活動
社内給食業、守衛、請負業 等

※衣浦営業所は、トヨタ自動車(株)衣浦工場内にあり、トヨタ自動車(株)として認証を取得しております。

弊社の認証取得範囲には含まれませんが、環境マネジメントシステムの適用範囲には含み、共に活動しております。

行政との共生

平成21年、豊田市と協力して持続可能な社会の構築を進めて行く事を目的に、「環境の保全を推進する協定」を締結しました。環境保全体制の整備や環境汚染の未然防止活動を推進するとともに、周辺住民の方へ積極的な情報提供を行うなど、環境配慮企業としての信頼性の確保に努めていきます。

地域コミュニケーション

本社、小原地区では、周辺自治区の代表者の方に環境取り組みを視察していただくと共に意見交換をしています。

また、地域の住民の方に環境モニターをお願いし、環境に関するご意見を工場の環境改善に役立てています。



小原工場ふれあいの集い

地域活動

会社、職制会、労働組合役員等が主催し、地域の公共施設や工場外周の清掃を実施しています。



近隣小学校でのクリーン活動



近隣小学校でのクリーン活動



近隣こども園の修繕



近隣こども園の遊具修繕



小原工場周辺の環境美化活動



音羽工場周辺のクリーン活動

ISO14001認証取得

1999年1月12日に本社・小原・音羽・緑工場、田原営業所の5サイトで認証を取得しました。
その後、対象範囲を子会社の協豊ファクトリーサービス(株)へ拡大し、現在もスパイラルアップを図りながら環境マネジメントシステムを運用しています。



審査中の様子

環境内部監査

環境マネジメントシステムがISO14001規格要求事項に適合し、計画通りに実施・維持・管理が実行されているかを内部監査員が各部署を監査しています。



監査中の様子

環境教育

環境活動を推進するためには、全従業員と関係者様一人ひとりが環境問題を認識し、自覚と責任を持って行動することが重要と考えます。
新入社員・派遣社員・仕入先をはじめ、環境重要設備従事者など役割ごとに環境教育計画を立て実施し、常に環境意識の高揚に努めています。

1.社内環境教育

新入社員や新任職制、環境重要設備従事者など、対象者に応じた環境教育を実施しています。

2.社外環境教育

行政及び関連企業の環境講演会等へ積極的に参加し、最新の環境情報を収集し社内へ展開しています。

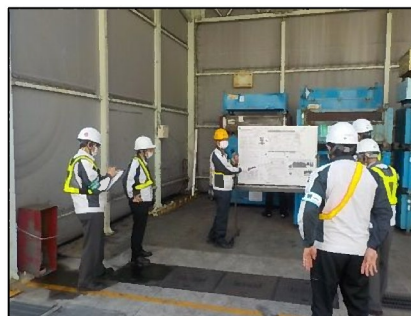
3.仕入先への環境活動

関係仕入先の環境管理の育成を図る為に、仕入先の定期的な環境指導を研修会と現地確認を実施しています。

啓発活動

環境月間（6月）や減電キャンペーン（11～12月）を推進しています。

- 1) 減電特別改善提案の募集と表彰
- 2) 経営層による環境点検指導会
- 3) 緊急異常処置訓練の実施
- 4) 各部長による環境講話
- 5) 社内放送による啓蒙活動
- 6) 協力会社の環境点検と改善の指導
- 7) 減電分科会メンバー 社外見学会



環境統括者による管理状況確認



減電分科会の社外見学会

環境負荷物質の低減活動

原材料・副資材に含まれる有害化学物質等による環境汚染を未然に防止する為、化学物質の購入検討時に有害性を評価し、有害物の使用禁止や減量化をしています。

1.社内で使用する物品・資材(自動車部品の資材を除く)の購入・管理システム

計画段階で購入予定品の有害性をSDS（安全データシート）で事前に確認し、環境負荷の無い資材を優先して購入するシステムです。

◎PRTR対象物質は該当製品の購入・使用量を把握して管理しています。

※PRTR（Pollutant Release and Transfer Register）：環境汚染物質排出移動登録制度

2.自動車部品に使用する物品・資材の購入・管理システム

環境負荷物質管理規格を仕入先様・購入先様へ展開し、弊社が使用する物品・資材が規格に則っているか確認して購入を決定するシステムです。

弊社が納める自動車部品に使用される化学製品に禁忌物質が含まれていないか、生技・購買の各段階における管理体制を構築しています。

廃棄物低減活動

廃棄物分科会が中心となり廃棄物排出量の低減を目標に、有償化、減量化、リサイクル化、グリーン調達等の活動を積極的に推進しています。

主な実施事項

- 1) 廃棄物分別による有償化処理、廃油置場等の整備（廃棄物とリサイクル品の分別管理）
- 2) 水溶性切削油・洗浄液のロングライフ化による廃油の低減
- 3) 有価処分品の調査拡大
- 4) 軍手、ウェスのクリーニングによるリユース化の推進

異常処置訓練

環境事故発生時の情報伝達と迅速な対応能力を向上させる為、起こりうる状況を想定した異常処置訓練を行っています。



本社工場



小原工場



音羽工場

緑化活動

新入社員の入社を記念した記念樹の植樹を行っています。



本社工場



小原工場



音羽工場

環境重要設備の管理

環境保全上、特に重点管理が必要な設備等を「環境重要設備」に特定し、環境問題が生じないように 日常管理の徹底を図っています。



【騒音】 機械プレス



【水質】 屋外タンク・油水分離槽



【大気】 塗装ブース



【廃棄物】 廃棄物集積場

カーボンニュートラルへ向けた取り組み

減電分科会が中心となり、地球温暖化防止に向けてCO2排出量の低減目標達成に向けて活動をしています。

1.主な実施事項

- 1) 減電（省エネ）モデルラインを設定し、プロジェクトチームによる削減活動を推進、社内展開
- 2) 各部減電改善提案活動と 分科会の減電パトロールによるエネルギーのムダ見直し活動
- 3) 工場内エアー供給エリアの個別化による不要エリアへの送気停止
- 4) 物流の積載率向上と走行ルートの見直しによるトラック燃料の低減
- 5) 天井照明（水銀灯）の高効率蛍光灯・LED照明への切り替え

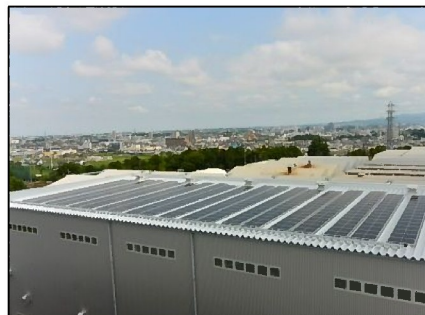
2.改善事例



工場屋根の遮熱化



INVコンプレッサのエリア別供給



太陽光による再エネ発電



コージェネレーションシステム

コージェネレーションシステムは、CO2の発生が少ない都市ガスを使用して発電し、CO2排出量を年間15.9ton-CO2削減します。また、排熱の空調への活用、ガスタービン発電、使用エネルギーの転換により電力購入量の低減ができます。

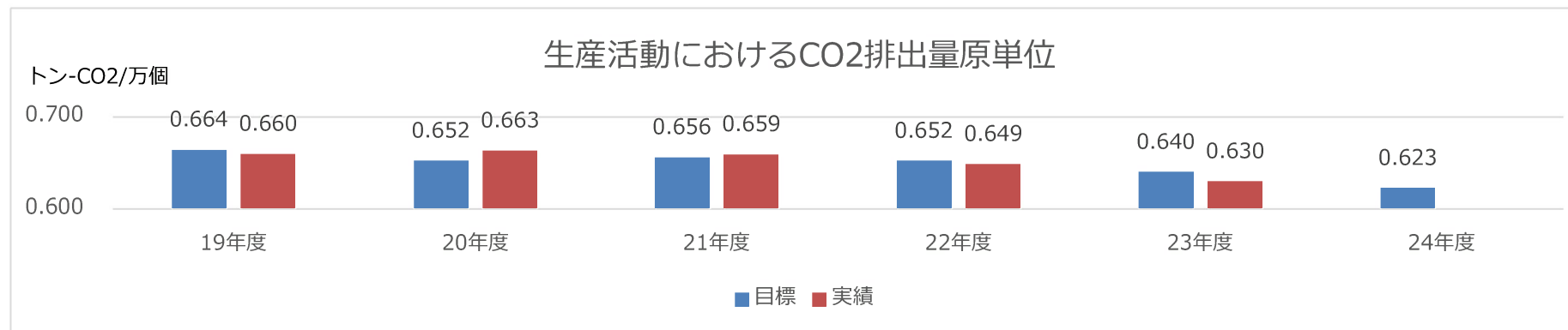
使用エネルギーの転換

- 1) 冷房用エアコン：電気→都市ガス
- 2) 暖房用ボイラー：A重油→都市ガス

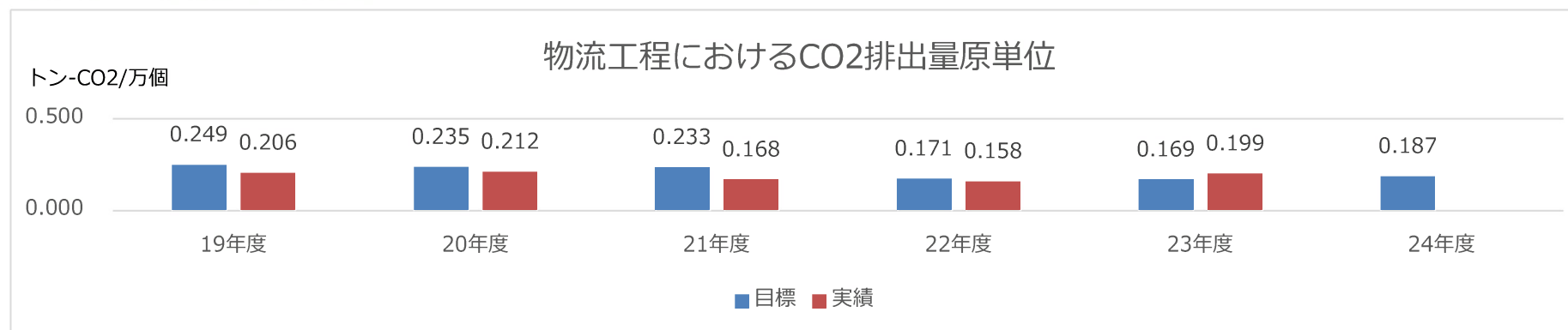
CO2、廃棄物削減活動

環境負荷低減に向けてCO2や廃棄物の削減に努めています。

1.地球温暖化防止 ～生産CO2低減対策の積極的な推進～

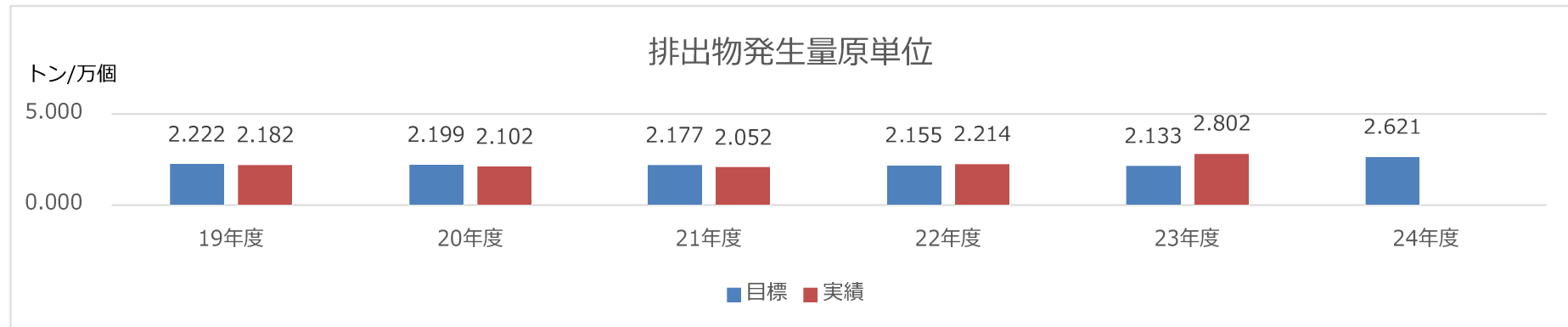


2.物流CO2削減 ～物流合理化の推進～

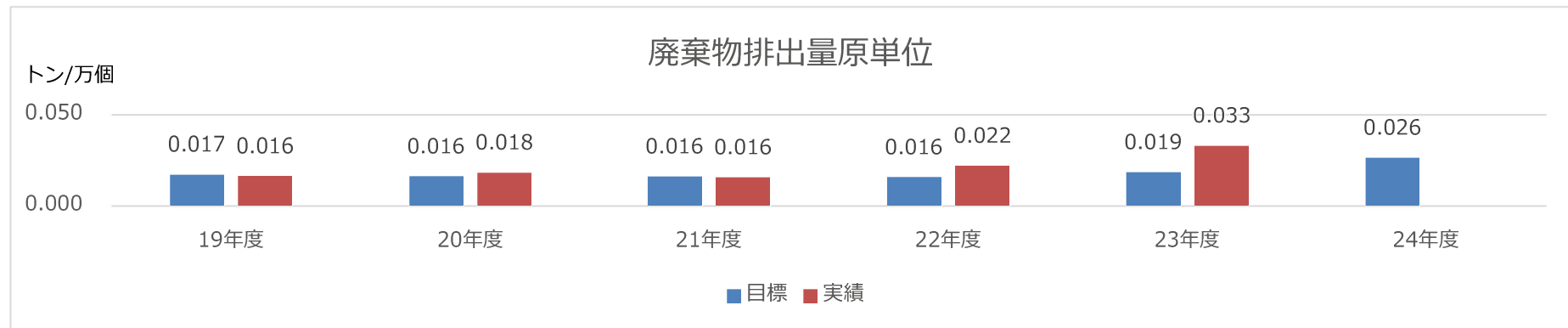


CO2、廃棄物削減活動

3.排出物削減 ～スクラップ低減による資源の有効活用～



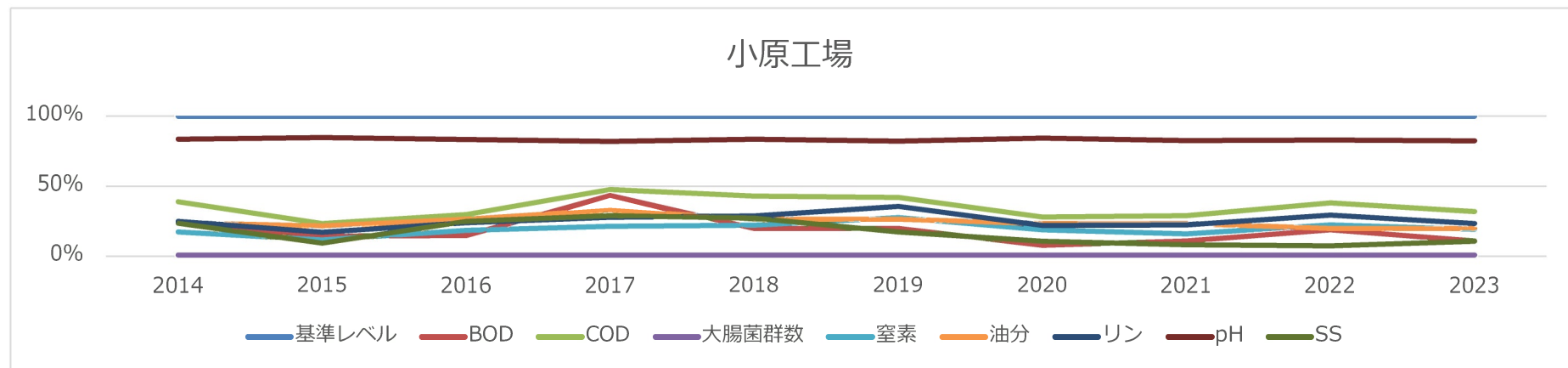
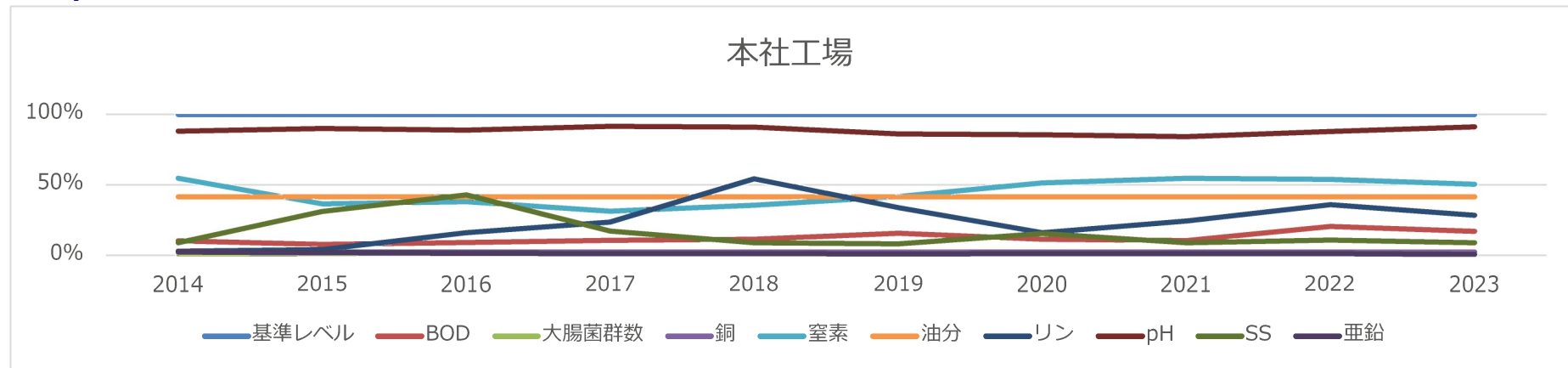
4.廃棄物低減 ～減容化、リサイクル化～



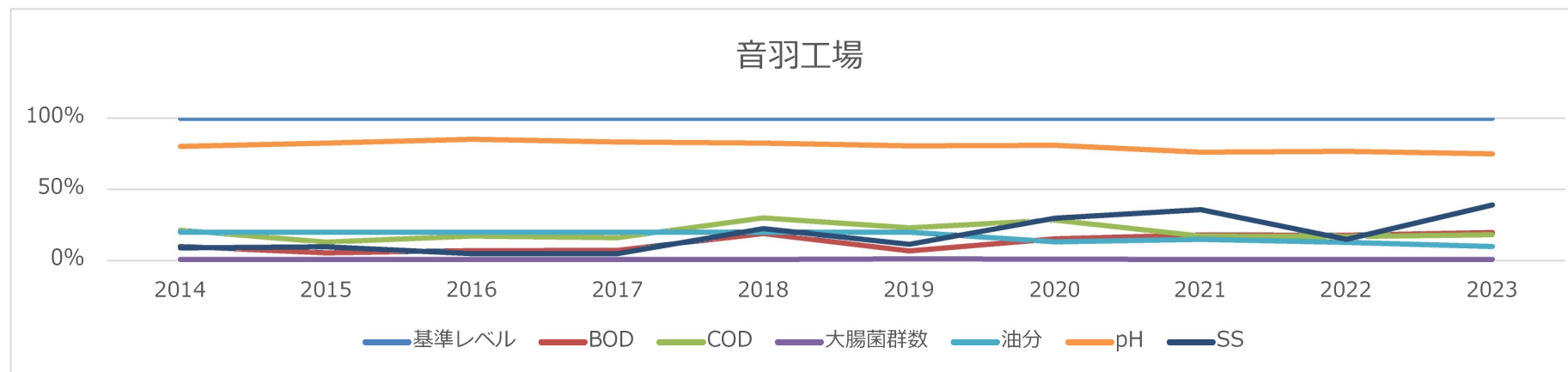
環境測定データ

水質に関して日常管理及び定期測定を実施し、環境異常の防止に努めています。

水質測定結果(年間平均値の規制値に対する比率)



環境測定データ



排水自主基準値

	本社工場	小原工場	音羽工場
測定項目	自主基準値	自主基準値	自主基準値
pH	6.08～8.32	5.8～8.6	5.8～8.6
BOD	≤16mg/ℓ	≤20mg/ℓ	≤20mg/ℓ
COD	—	≤20mg/ℓ	≤20mg/ℓ
SS	≤12mg/ℓ	≤20mg/ℓ	≤20mg/ℓ
油分	≤2.4mg/ℓ	≤5mg/ℓ	≤5mg/ℓ
窒素	≤48mg/ℓ	≤48mg/ℓ	—
リン	≤4.8mg/ℓ	≤4.8mg/ℓ	—
銅	≤0.4mg/ℓ	—	—
亜鉛	≤1.6mg/ℓ	—	—
大腸菌群数	3000個/cm ³	3000個/cm ³	3000個/cm ³

環境報告書 2024



株式会社 協豊製作所

HP / <https://www.kyoho-ss.co.jp/>

発行部署 / 安全健康環境部

発行日 / 2025年1月